



笹小だより



No. 2

2019年4月26日
横浜市立笹野台小学校

「さらなる成長を願って・・・」

校長 飯田 雅人

青葉が日に日に鮮やかさを増し、吹く風もさわやかに感じられる季節となりました。校内を歩いていると、「校長先生、こんにちは。」と自分からあいさつができる笹小の子どもたちです。各教室の授業の様子をのぞいてみると、「聞く」「書く」「話す」といった活動を基盤にしながら、どのクラスの子どもたちも丁寧に学習を進めることができています。そのような子どもの姿を見ていると、平成31年度もよいスタートが切れたのではないかと思います。

本校では、にこにこペア学年の交流をより深めていくために、今年度より6年生も入学式に出席しました。6年生のリードで入場してくる新1年生の姿は、緊張の中にも、お兄さん・お姉さんが近くについてくれたことにより、どこか安心感があつたように感じられました。土日をはさんで週明けの登校2日目の月曜日の朝のことです。6年生にとってもクラス替えがあつたばかりで、新しい環境に慣れるのに大変な時期です。しかしながら、入学式で出会ったペアの1年生のことが気になるのか、さっそく多くの6年生がランドセルを自分の教室に置くと、すぐに1年生の教室に来て声をかけていました。その優しく接している様子を見ていると、1年生が安心できると同時に、6年生自身もこういった交流を通して成長していくに違いないと感じました。入学式に6年生が出席したことは、すでに過去のことになっていますが、これで終わりではなく、ぜひ1・6年交流のよいきっかけにしてほしいと願っています。

年度初めの教職員の打ち合わせでは、笹野台小学校の子どもたちのさらなる成長を願って、次の2つのことを意識して子どもたちの日頃の指導にあたってくださいという話をしました。1つ目は、自分の名前を呼ばれたら、「はい。」という気持ちの良いあいさつができることです。思春期に入った高学年は、なかなか自分を前面に出していくことが難しくなっていく子どもが多いのが現実です。しかしながら、自分の名前を呼ばれたら、自信をもって「はい。」と返事ができる子どもになってほしいと願っています。2つ目は、何かをみんなの前で話す時には、できる限り原稿を読まずに、相手の目を見て話すことのできる子どもに育ててほしいということです。話の内容は、つたなくてもかまいません。でも、何かを相手に伝える時に、原稿を読んでいては十分に伝わるとは思わないからです。今後の子どもたちのさらなる成長を見守っていただければと思います。

最後になりますが、5月25日(土)には、本校で運動会を行います。練習時には、近隣にお住まいの方には、子どもたちが練習する際に出る音等でご迷惑をおかけするとは思いますが、運動会で、子どもたちが精一杯がんばる姿を皆様にお見せできるようにしたいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。また、運動会当日には、保護者の皆様・地域の皆様の子どもたちへの温かいご声援、よろしく願いいたします。

笹野台小学校合い言葉

元気いっぱい

やさしさいっぱい

笑顔いっぱい

心かがやく笹小キッズ